

果樹の広範囲な病害に
野菜の細菌性病害に



®は日本農薬(株)の登録商標です



〈写真はイメージです〉



りんご/輪紋病



りんご/炭疽病



キャベツ/黒腐病



はくさい/軟腐病



りんご/褐斑病



もも/縮葉病



かき/円星落葉病



レタス/軟腐病



日本農薬(株)の銅剤マークです

特長

- フロアブル製剤であり、水和剤に比べ作物への汚れが少ない。
- 作物体へ均一に付着するため耐雨性に優れ安定した予防効果を示す。
- 散布液調製時の粉立ちがなく使いやすい。

殺菌剤

ドキリン[®]フロアブル

有効成分：8-ヒドロキシキノリン銅(有機銅)…35.0%
 安全性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)
 (2026年3月現在の登録内容)

▼適用病害虫および使用方法 2026年3月登録変更

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数		
りんご	斑点落葉病、輪紋病、黒星病、褐斑病、すす点病、すす斑病	800～1000倍	200～700 l /10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内)		
	炭疽病	800倍							
おうとう	せん孔病	700～800倍		収穫終了後～落葉期まで	3回以内		6回以内 (塗布は3回以内、 散布は3回以内)		
なし	黒斑病、黒星病、輪紋病、枝枯細菌病	1000倍		収穫21日前まで	9回以内		12回以内 (塗布は3回以内、 散布は9回以内)		
	かき	落葉病、うどんこ病、炭疽病		800～1000倍	収穫14日前まで		5回以内	8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)	
もも		縮葉病		800倍	発芽前～開花直前まで 但し、収穫60日前まで				
ぶどう	黒とう病、枝膨病、べと病	600倍		収穫45日前まで	4回以内 (開花後は1回)		7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内(但し、 開花後は1回以内))		
すいか	果実汚斑細菌病	800倍		100～300 l /10a	収穫前日まで		5回以内	散布	5回以内
	つる枯病、炭疽病	500～1000倍			収穫10日前まで				
メロン	つる枯病	800倍			収穫14日前まで		3回以内		3回以内
	果実汚斑細菌病	500～1000倍	収穫30日前まで		5回以内	5回以内			
キャベツ	黒腐病	800～1000倍					育苗期		3回以内
	はくさい	軟腐病	800～1000倍		収穫前日まで	5回以内	5回以内		
べと病		1000～1500倍							
きゅうり	斑点細菌病	1000倍	収穫前日まで		5回以内	5回以内			
	炭疽病	1000～1500倍							
いちご	炭疽病	500～800倍	収穫21日前まで		5回以内	5回以内			
	腐敗病	800倍							
レタス	軟腐病	800～1000倍	収穫30日前まで	5回以内	5回以内				
	腐敗病	800倍							
非結球レタス	腐敗病	800～1000倍	収穫30日前まで	5回以内	5回以内				
	軟腐病	800～1000倍							

⚠ 使用上の注意事項

- ・石灰硫黄合剤、水和硫黄剤との混用は薬害のおそれがあるのでさけてください。
- ・りんごの病害防除に使用する場合は、さび果の発生を多くすることがあるので、落花直後から落花20日頃までの使用はさけてください。また樹勢の良くない状態などで連続散布すると生理落葉を助長することがあるので注意してください。特にゴールドen及びゴールドenからの育成品種では注意してください。
- ・はくさい、レタス、キャベツの軟腐病、キャベツの黒腐病などの細菌性病害防除に使用する場合は、発病後の散布では効果が劣ることがあるので、発病前～発病初期から予防的に散布してください。
- ・ぶどうに使用する場合は、果実肥大期(あずき粒大)以降の散布では、さび果や果房の汚れを生ずることがあるので、無袋栽培ではこの時期以降の散布は避けてください。
- ・自動車などの塗装面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- ・適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- ・眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ・皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- ・散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- ・水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用は避けてください。
- ・水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- ・散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

LINE公式アカウントはじめました!



友だち募集中 最新情報をLINEで配信!



@nichino

NICHINO 東京都中央区 京橋1丁目 19番8号

日本農薬株式会社

TEL: 0570-09-1177 URL: <https://www.nichino.co.jp/>

2026年3月作成版 (SK)BF12603S